

神田小の誇りは「明るい笑顔」と「元気なあいさつ」



学校だより

No. 5 さいたま市立神田小学校

平成30年 8月28日 発行 TEL (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>



「防災」について考える

校長 内野 多美子

今年の夏は、とても暑い日が続き、各地で熱中症によって救急搬送される人が多く、本校でも夏休みの水泳指導が実施できるかどうか危ぶまれました。しかし、さすが神田の子。プールやサマースクールに笑顔いっぱい、元気に通ってくる姿を見て、大変頼もしく誇りに思いました。きっと、子供たちは夏休みの間、普段できない経験をたくさんして、一回りも二回りも大きく成長したことと思います。今日から2学期が始まります。校外学習、修学旅行、社会科見学、校内音楽会、オレンジフェスティバル等、たくさんの行事が目白押しです。友達同士仲よく協力し合い、一人ひとりがさらに成長できる2学期にしてほしいと思います。

さて、9月1日は「防災の日」です。1923年（大正12年）に発生した関東大震災にちなんだもので、1960年（昭和35年）に制定されました。関東大震災は、大正12年9月1日11時58分に発生、マグニチュード7.9と推定され、熊谷でも震度6を観測しました。ちょうど昼時であったため、地震の後に起きた火災によっても多くの死者が出て、死者行方不明者は10万5千人以上、被害総額は45億円とされています。平成になってからは、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災、平成23年3月11日に発生した東日本大震災、平成28年4月14日に発生した熊本地震、今年7月に起きた西日本豪雨災害など、世界でも日本は国土面積の割に災害の多い国として知られています。

いつどこで起きるかわからない自然災害。私たちは、災害への備えをしっかりとする必要があります。学校でも、1学期には主に地震を想定した避難訓練と大規模災害を想定した小中合同引渡訓練、2学期には地震・火災を想定した避難訓練、消火器訓練、煙体験、3学期には竜巻を想定した避難訓練（本校は、平成26年4月4日に校舎西側の倉庫が竜巻被害にあっています。）を行っています。

また、10月13日（土）には、自治会の方を中心に神田小学校が避難所になった場合の避難所運営訓練を実施する予定です。災害時における「自助」（自分の命は自分で守る）「共助」（家族や町内会、自治会などの地域コミュニティで助け合う）の気持ちをしっかりともち、いざという時のために、地域の方々とともに、子供たちや高齢者の方々が安全に避難できるようにするために行うものです。どうぞ、この機会にご家庭でも「防災」「日頃の備え」についてお話をいただければと思います。